

財産区だより

編集・発行

塩尻市洗馬財産区

〒399-6462 塩尻市洗馬2550番地2

令和8年3月15日発行

新財産区議員紹介

任期R7.7.27～R11.7.26

継承そして後世へ

洗馬地区の皆様には、財産区の事業・運営等につきまして、深いご理解とご協力を頂きありがとうございます。

近年では、森林を取り巻く環境が極めて厳しくなっておりますが、山林の適切な撫育や松くい虫対策、境界確認といった地道な活動こそが、山を守る基盤であると確信しております。

現場を大切にす視点をもち続け、時代に即した財産区の在り方についても慎重に検討を重ねてまいります。

また、厳しい経営状況が続いている中ではありますが、この状況改善に向けて、令和4年度から自営林の茸止め山を実施しております。

引き続き継承し、先人が長年守り育ててくれた貴重な財産を守り、豊かな自然を将来にバトンできるよう新たな挑戦も試み事業展開を進めますので、区民の皆様のご理解とお力添えをお願いいたします。



財産区議長
大熊 陽一
(上小曾部)



議員
佐々木 博志
(上組)



議員
三溝 昌俊
(元町)



議員
寺澤 誠
(芦ノ田)



議員
塚本 洋一
(太田)



財産区副議長
荒崎 幸一
(岩垂)



議員
成田 和幸
(下小曾部)

財産区森林専門委員

委員長 後藤年秀(上組)

副委員長 青柳武利(岩垂)

委員 北沢健司(下小曾部)

財産区管理者から任命され、森林専門委員を務めています。

地域振興に貢献してきた洗馬財産区

財産区は昭和36年に旧洗馬村が塩尻市と合併した際、旧村が所有していた山林は、洗馬地区民が引き続き管理していきたいとの意向により発足したものです。(市内には、洗馬以外に北小野財産区があります。)

洗馬財産区は、発足以来、木材収入のほか電力会社の鉄塔建設にかかわる補償金などの収入により、財政が豊かな時期が続きました。そのため、地域住民の福祉充実を目的に、中学生へのバス通学補助、小学校体育館建設費補助、消防団洗馬分団本部建設費補助等、地域の振興や発展に貢献してきました。

令和6年度決算状況

(単位:千円)

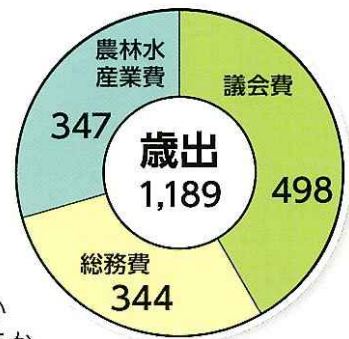


歳入の概要

財産収入・・・茸山貸付料、基本積立利子
繰入金・・・基金繰入金
諸収入・・・普通預金利子

歳出の概要

議会費・・・議員報酬ほか
総務費・・・事務的経費ほか
農林水産業費・・・山林整備事業費ほか



※毎年基金(預金)を繰入れて、運営費に充てています。

洗馬財産区からのお知らせ

洗馬財産区は、現在、区有林からの財産収入がほとんど得られないため、基金（積立金）をとり崩して山林整備を図るなど、厳しい財政運営が続いています。

平成30年度からは議員報酬の見直しを行うなど、経費の削減に努めてまいりましたが、事業経費を基金から充当する財政状況がこのまま続きますと、近い将来には基金が枯渇することが予想されます。このため、今後も財産区としての山林経営の本来の目的を果たしながら、事業を継続してゆくには、収入源の確保が最優先の課題となっていました。

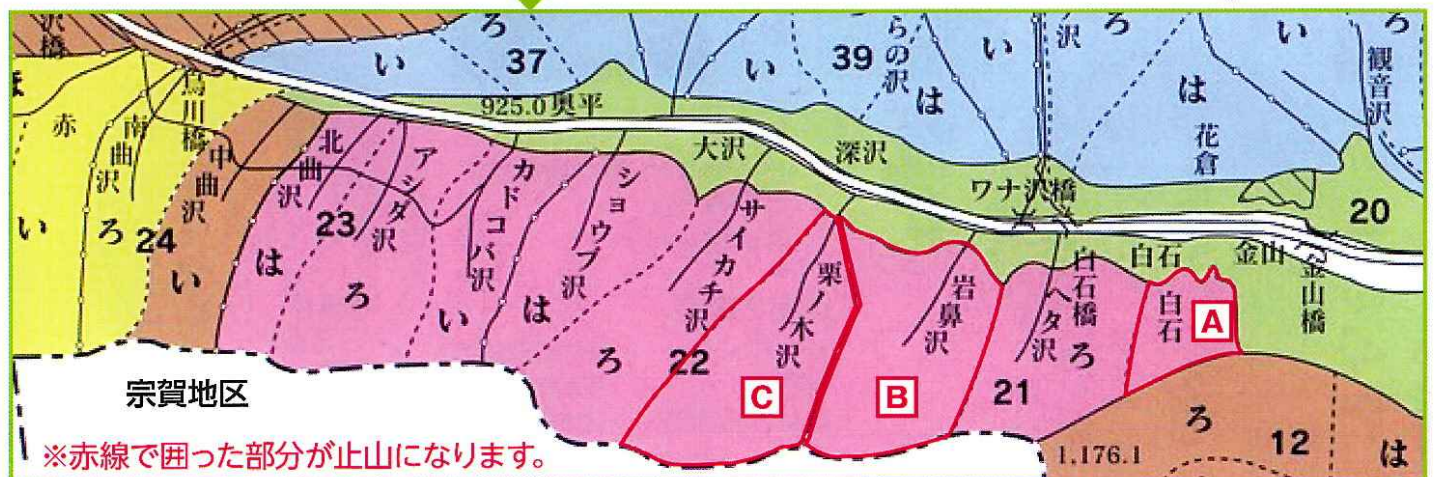
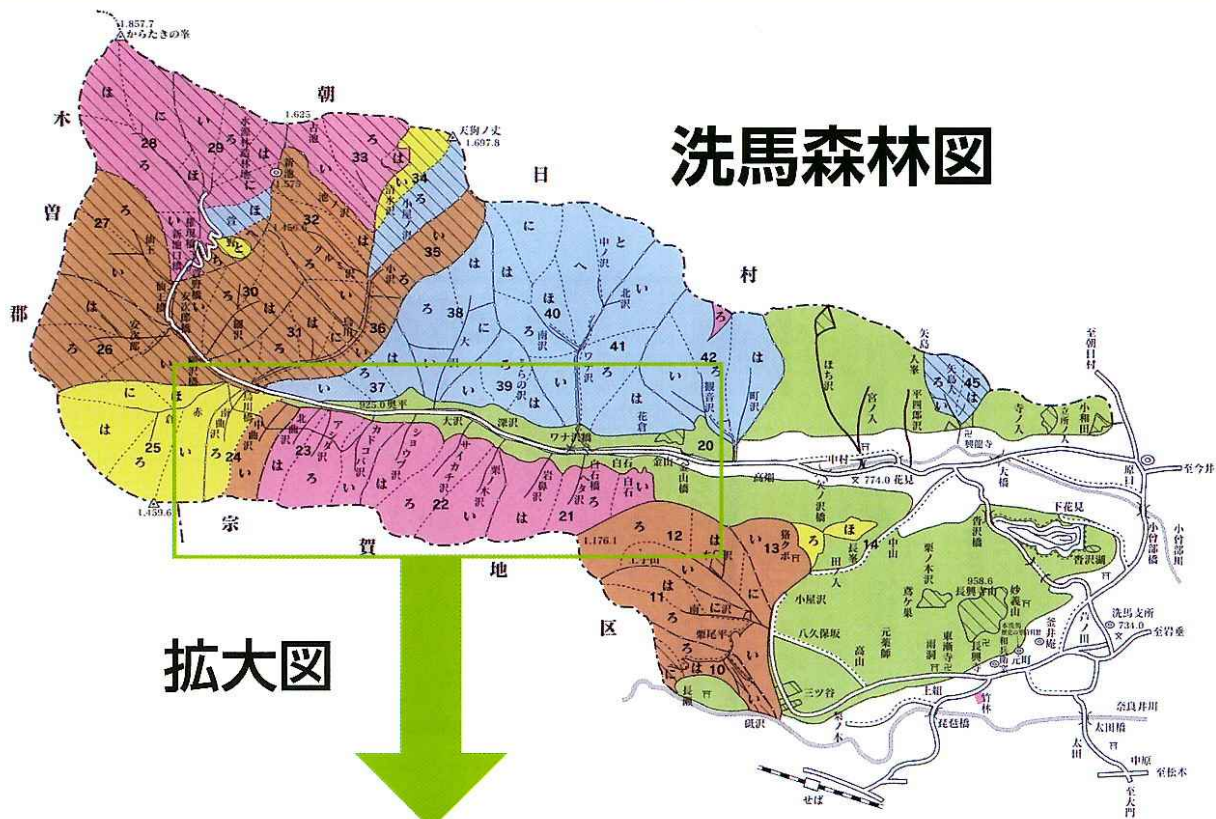
そこで、洗馬財産区では、少しでも収入を得る方策について検討を重ね、令和4年度から区有林の一部の区分けした山を茸止め山にし、期間内の入山権（区画内のキノコを採る権利）を入札して収入を得ています。

洗馬地区の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 1 茸止山期間 毎年8月1日～11月30日まで
- 2 茸止山場所 A:白石(白石窪)、B:岩鼻沢、C:栗ノ木沢(拡大地図参照)
- 3 入山の制限について

- (1) この期間、落札者以外は茸止山箇所への入山は禁止となります。
- (2) 洗馬地区以外の方で、財産区有林の茸止山箇所を御存じでない方がいましたら、入山できない旨をお伝えいただくようご協力をお願いいたします。

なお、入札を6月に予定しています。詳細は追ってお知らせします。



※赤線で囲った部分が止山になります。